



2023年11月9日

各位

東京都新宿区揚場町2番1号
大興電子通信株式会社
代表取締役社長 松山 晃一郎
(コード番号8023 東証スタンダード市場)
問合せ先
執行役員コーポレート本部長 間瀬 剛志
(TEL03-3266-8111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表しました2024年3月期の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	1,700	1,720	1,150	86.60
今回発表予想(B)	42,500	2,820	2,870	1,910	144.71
増減額(B-A)	4,500	1,120	1,150	760	
増減率(%)	11.8	65.9	66.9	66.1	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	37,615	1,872	1,923	996	75.03

2. 修正の理由

売上高につきましては、当連結会計期間の上期に工事部門の大型案件が前倒しで計上されたことに加え、下期におきましても情報通信機器部門での大型案件の計上を予定しております。また、上期にインボイス制度対応のソフトウェアサービス案件が積み上がり増収となっており、新たに連結した子会社を含めて子会社の業績が好調であったことなどから当連結会計期間において当初予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、売上高の増加や収益性の向上により売上総利益が増加し、ICT人材の確保ならびに雇用継続を目的とした従業員の処遇改善および教育投資、採用活動の強化などによる経費の増加などを吸収して、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、それぞれ当初予想を上回る見込みです。

当連結会計期間の下期の見込みにおきましては、受注残高が高水準であることから一定の収益を確保できる見込みであります。一方で、上期のインボイス対応需要の終息、大型案件が比較的粗利益率であること、子会社においては上期に前倒しで収益計上が進んでおり、投資面では、将来における企業価値創造のためのシン・ビジネスへの投資の活性化が見込まれ、従業員の処遇改善と人材確保に向けた投資、教育投資などの人的資本投資を一層強化する予定であります。これらの要素を勘案して通期の業績予想を算出しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

以上